「宮崎オープンシティまちづくり計画」（素案）に関するご意見の概要及び本市の考え方について

「宮崎オープンシティまちづくり計画」を策定するにあたり、令和６年２月５日（月）から令和６年３月１日（金）までパブリックコメントを実施しました。
その結果、１件（１ 名）のご意見をいただきました。提出されたご意見の概要及び本市の考え方については、以下のとおりです。

No.	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
1	民間事業者が建物の建設やオープンスペースを整備するまでのプロセスに、建築や色彩、緑化などの分野の専門家が「助言」を行うスキームを組み込んでほしい。 オープンスペースがあっても、人が集いたくなるような、魅力的な街・空間でなければ、賑わいは生まれません。建物の形態や意匠、色彩の工夫などによって街の印象はずいぶん変わります。宮崎市と事業者が「まちを活性化させるための創造的な協議の場」を設けることで、事業者と一体となって、より魅力的な街を作っていく取組みを期待しています。 ※日向市では、建築の専門家と色彩の専門家が駅周辺の区画整理地内に移転再築される建物の建設に際し、建物の意匠や色彩に対し、助言（あくまで、お願いベース）をする取組みを10年以上前から行っています。これにより、建物の軒の裏には天然の杉材を使用する。建物を白にする場合は、純白ではなく、わずかに茶色を混ぜるなどの工夫が行われ、街並みの魅力向上につながっています。（協議の場は、四半期に1回程度にまとめて行うなど、行政側の事務負担の軽減も図っているようです。） ※日向市に限った話ではなく、北九州市など九州各地の都市でも行われている取組みです。実務は景観行政の担当部局が行っている例が多いのではないでしょうか。	本計画に基づく民間のまちづくり誘導に関しては、魅力的なものとなるよう、現在作成中の具体な基準やガイドラインにて示す予定です。ご指摘の制度活用のプロセス等については、ご意見を踏まえ、具体な計画が動き出した段階で検討を進めてまいります。